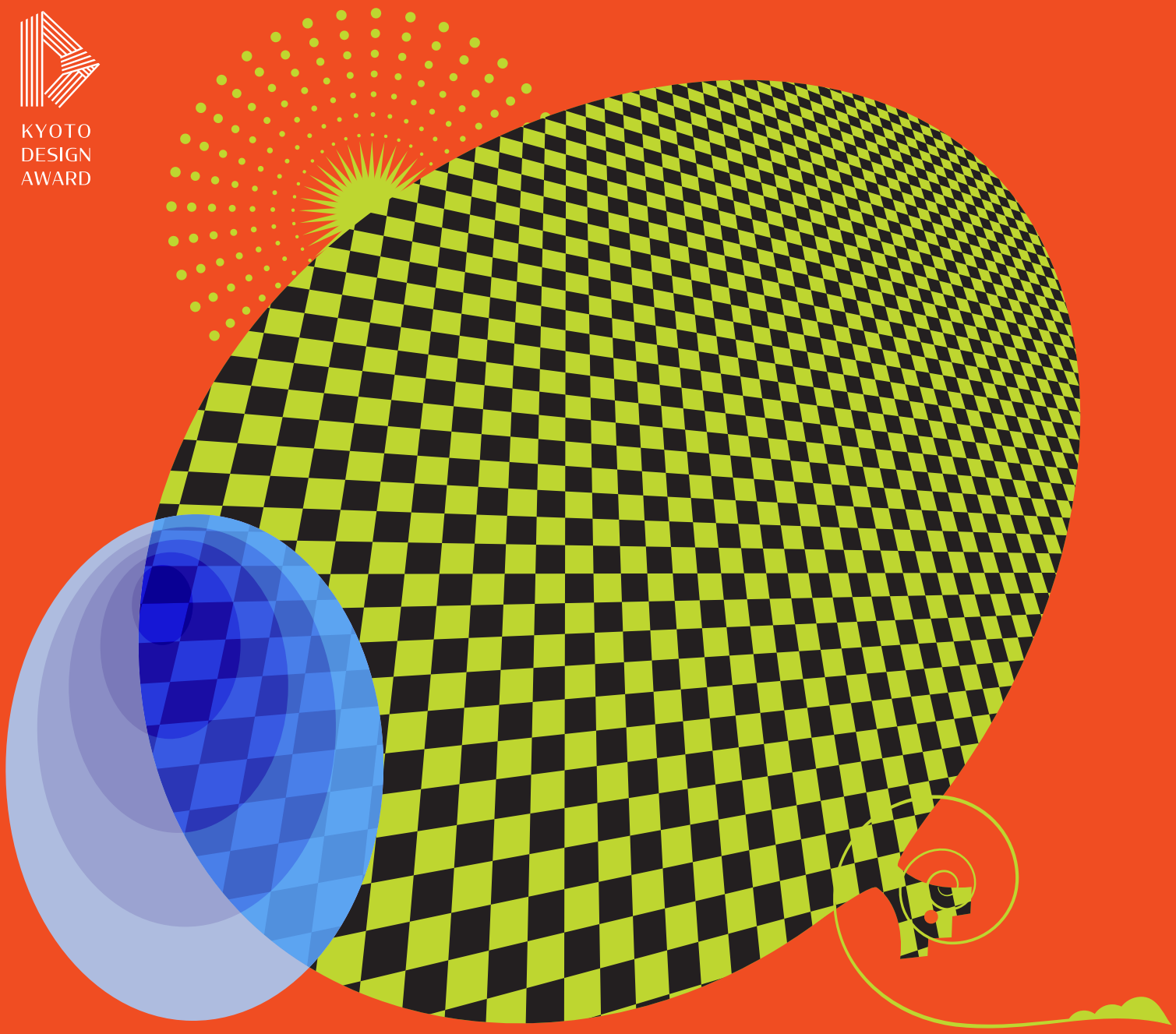
KYOTO
DESIGN
AWARD



新しい京都のデザイン

京都デザイン賞 2015

入　賞　・　入　選　作　品

KYOTO DESIGN ASSOCIATION

ごあいさつ

京都デザイン協会は、各ジャンルの第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業の振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として設立し、47年間に亘る活動を続けてまいりました。2013年6月4日、より一層社会貢献をはたせる団体を目指し、新たな組織としての公益社団法人京都デザイン協会に移行、活動を開始いたしました。

「京都デザイン賞」の入選作品は、2009年度の第1回以来、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを目的として公募し、応募された作品の中から、審査により厳選された作品です。

第7回の今回は85点の応募作品から、30点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞　大賞、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞、京都新聞賞、課題部門／伏見酒造組合賞・京とうふ藤野賞、学生賞（画箋堂賞）をそれぞれ1点ずつ選出させていただきました。

ここに「京都デザイン賞2015」の入賞・入選作品を選出し展示させていただけますことは、出品者はもとより、後援、協力、協賛をいただいた多くの企業・団体・個人のみなさまのご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちは「京都デザイン賞」で選ばれた優れた作品を、「京都発21世紀の大きな波」として日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2015年11月

主催者代表　公益社団法人京都デザイン協会

理事長　奈良 磐雄

審査員講評

久谷 政樹　（グラフィックデザイナー・京都造形芸術大学名誉教授）

今年、日本のデザイン界は大揺れに揺れた。2020年に開催される東京オリンピックのメーンスタジアムのデザイン。そしてもう一つはエンブレムのデザインである。連日のようにメディアに建築デザイナー、グラフィックデザイナー、アートディレクターという文字が躍った。騒動は一応収まっているように見えるが第2幕はこれからだ。しかし、テーマの設定がまだ見えてこない。それは審査基準で最も重要な問題でもある。

さて、本展「京都デザイン賞2015」の審査の基準であるが、私は次のように解釈し、審査に当たった。

一口に言えば「伝統に学び伝統を否定する」新しい表現が試みられているかどうかである。

大賞の「京都銀行西七条支店」は銀行のイメージを一新させるもので私の審査基準に合致した。これまで銀行の建物は、堅実、信用、安心を重んじた無難でかたくるしい何の個性も持たないデザインになりがちであったからだ。一番の視覚的特徴は圧倒的な面を持つ美しい大瓦屋根だろう。また、大屋根だからこそ可能な豊かな軒先空間は日本の優れた生活空間を連想させ、外と内を柔らかくつなぐ仕組まれた伝統建築空間であり、人々を包み込むような心理的配慮も込められている。かつて京都の町は瓦屋根で覆われた美しい屋波を形成していた。私は今も残るフィレンツェの黄色い瓦屋波のように、京都の町に瓦屋波景観の復活を望んでいる。

滝口 洋子　（京都市立芸術大学教授）

今回の審査では京都から海外マーケットに向けての意欲的な提案がいくつかみられました。京都の伝統産業の技術力・意匠力の高さはここに述べるまでもないのですが、それらの技術のコラボレーションの試みに可能性を感じました。今後さらに現代の生活に相応しいオリジナリティあるデザインへと展開されることを楽しみにしています。

第2分野は出品点数があまり多くないことが残念でしたが、入選された「からげ帷」は活動的で完成度も高く評価が集まりました。帯やボトムとセットでの提案であれば入賞の可能性も高かったのではないでしょうか。

デザインは人を含めすべての生あるものの豊かな生活を目指してその対象をますます拡張しています。作品として完成されたモノだけでなく近年増えつつある分野を越えた社会的な活動なども積極的に評価するしくみを考えていければと思います。

村田 智明　（株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
京都造形芸術大学大学院SDI所長・プロダクトデザイン学科教授）

京都銀行西七条支店は、大きくなだらかに続く瓦葺きの切妻屋根が京都らしい町並みに貢献しています。フランチャイズ店舗の乱立で日本の街が均一化する今、地域の感性ポテンシャル〜その地の差異を生み出す創意が、その地を活性化してくれるエネルギーとなるのです。この作品は大賞に相応しい地域課題解決の提案性に満ちているとして評価いたしました。また、西都教会の美しさにも息をのみました。無機質な壁に囲まれた有限空間の礼拝堂とは対比的に、覆いかぶさるような構造の天井に映り込む自然光が無限の広がりを生み出し優しく降り注いでいます。天を仰ぐ目線が綿密に計算された、ミニマルな空間だけが創りだす静心神秘的な空間設計が京都の精神文化的な一面を醸し出しているのです。紙風煎茶は、茶葉を包むティーバックフィルターがキャラメル折になっていて、伝統的折り紙文化を生かした現代的用途感覚に提案性が高いとして評価しています。柔らかい茶葉をどうやって自動化でキャラメル状に包むかが解決できれば、商品化へ拍車がかかるでしょう。クリスタルローズの食用金箔は、お茶に浮かべる花びらや富士山などの切り抜き金箔。その一時を最大限にもてなす茶の湯の心を現代に生かし、京都らしい至極の時間を贈る「行為のデザイン」が体現されています。SMART STANDは、デスクでiPhoneの画面を見るためのスタンド。ステンレスのパイプを回転させながらレーザーカットし、その後バレル研磨しているため材料ロスが殆どなく金型も要らないのでエコ、またオーダーがあってからでも作れるので、在庫リスクもないという製造面での優れたアイデアです。このように製造面を優先させるとデザイン性が損なわれるのが通常ですが、京都らしい品性を備えたデザインとなっています。縦置き時の転倒については、パイプ直径を大きくすることで製品化が可能となるでしょう。

新井 清一　（建築家・京都精華大学教授）

京都デザイン賞2015の応募状況についてのコメントとして、私が担当分野の建築・ランドスケープ・インテリアデザイン・ディスプレイの応募が多かった事が掲げられます。勿論私としては好ましく、願ってもない事なのですが、他方京都デザインの主流をなすべき他の分野の応募が、比較的少なめであった事はこれからの課題として積極的に推進したいものです。何と云っても京都はそのイメージからして、世界に通用する”The Kyoto”ブランドの世界を発進出来る可能性を内包しているはずです。

審査に於いてはいつもながら、多くの分野の作品、製品、計画、アイデア等を審査基準をベースとしながら、俯瞰して審査に望む事を心掛けました。

大賞の「京都銀行西七条支店」は、いわば銀行(店舗)としてここまでデザインを重視し、環境また京都を意識し完成に至ったかを評価したいと思います。極端に低い軒先を持つ瓦のテクスチャーを視覚レベル迄意識した大屋根、一見無駄の様にも解釈されがちな街と内部空間の間のパブリックスペース、そして適宜配慮された植栽、これらが醸し出す空間は既存の銀行のイメージを払拭していると思えます。

「西都教会」中庭空間の創造に寄与している断面を持つこの空間は、光の取り入れ方が素晴らしい作品です。「清香庵」は、いわゆるモバイル・セッティングではあるが、その組み立ての簡易性、ディテールの繊細さは感嘆に値するでしょう。

学生作品として2点私見を述べると、学生賞の「Kyoto Nijo Hotel」案は大屋根のフォルムを大胆に組み込んだ建築とパブリックスペースとしての大階段を都市の中に提案した案であり、このような大胆な案が学生達の間から今後も持ち上がってくる事を期待したいと思います。「module 978」は京都の都市計画から波及した京畳のサイズをモジュールとし、新しい提案を示唆する計画として興味を覚えます。

他の分野の作品としては清酒ラベルに空間を感じた「浮」の提案、かわいいフォルムが茶の中で浮遊するであろう「紙風煎茶」が目に留まった作品でした。

中島 信也　（株式会社東北新社取締役／CMディレクター、武蔵野美術大学客員教授）

全国に先駆けて「京都市市街地景観条例」が制定されたのは今から40年以上も前の1972年です。それから33年後「日本が世界に誇るべき至宝とも言える京都の優れた景観が、高度経済成長期以降、とりわけバブル経済期における都市開発の流れの中で、そして失われた10年を過ぎてもなお、今日、市民、事業者、行政の懸命な保全・再生の努力にもかかわらず、忍び寄る破壊により変容し続けてきた」（京都市hpより）　との認識から「京都市景観計画」が策定されました。デザイナーはこの意識を共有し、あるべきかたちを模索し続けています。この意識は「景観」というものに直接関与する建築に始まり、生活者の環境を形成するすべての「デザイン」に波及していくべきものだと思います。

そこで同計画の冒頭に掲げられた二つの文章に使われている「景観」という言葉を「デザイン」に置き換えてみます。「山紫水明と称えられる豊かな自然と1200年の悠久の歴史に育まれた歴史都市・京都の美しいデザイン」「50年後、100年後も京都が京都であり続けるため（中略）時を超え光り輝く京都のデザインづくりを推進していく」となります。こんなに志の高い目標を掲げる街は他にはありません。さすが京都です。

そう考えると、建築、プロダクトデザイン、パッケージを含むグラフィックデザインが一堂に会するこの「京都デザイン賞」は、単なるアワードとしてではなく、京都に関わる様々な分野のデザイナー達が「この大切な意識を共有する機会」としての意義を持つ、大変貴重なプロジェクトだと言えます。受賞作はこの大切な意識をかたちにしたものです。今回の大賞は大賞にふさわしいスケールの大きな仕事ですが、入賞作の中に規模こそ大きくありませんが「京都に住み、自分が生活する街として京都のかたちを考えていこう」という意識が強く現れているものがたくさん見つけられると思います。

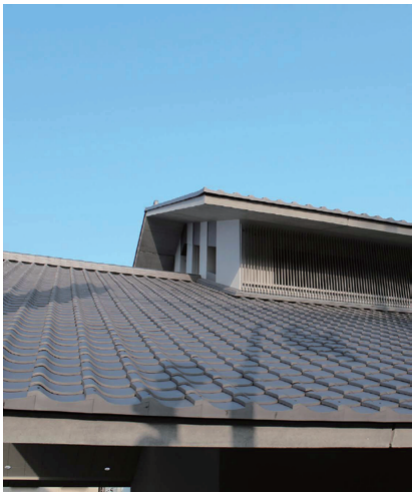
京都デザイン賞の目的は単に賞を獲得する為だけにあるのではなく、この審査会、集いをとおして「時を超え光り輝く京都のデザイン」を考え、つくり出していくことにあると強く思いました。

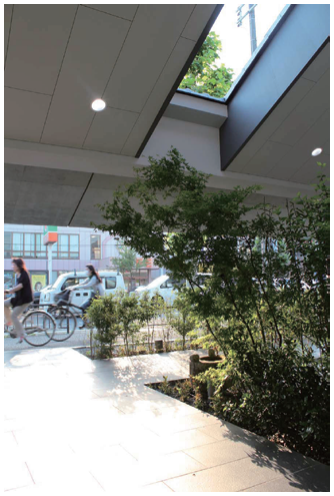
大　賞

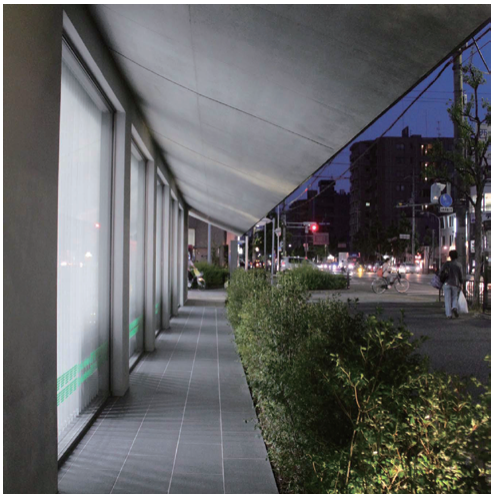
京都銀行西七条支店

株式会社竹中工務店
松本 伸洋、藤原 浩士、鈴木 星穂

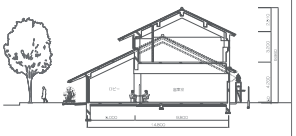








京都銀行西七条支店　～大らかな切妻屋根の下に緑とパブリックスペースを配する～

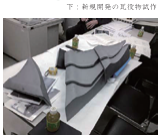


敷地が勾配屋根の比較的多く残る地域にあり、その形状が南北方向に約50mと広い事が特徴であった為、間口を最大限利用した五瓦の大屋根で建物を構成し、その下に緑とパブリックスペースを配する事を考えました。
いぶし銀瓦の大屋根は勾配を4.75寸とする事で、街に対して大らかな表情を持たせながら、軒先高さを2.1mと極力抑える事で、軒先空間ではヒューマンなスケールを実現しています。低く抑えた軒は西日を抑制する環境要素であり、内部からは緩やかとした街並みから、効果的に配された外構の緑を切り取るピクチャーウインドウとして機能し、待合のお客様、従業員に対してやさしくフィルタリングされた外部環境との関係性を作りだしています。
大屋根の隅切部では新規開発の軒先役物瓦によりシンプルな瓦納まりを実現しています。この瓦役物により大屋根は端正な表情を持ちながら、その裾野を街並みに開き、ランドマークとなる特色あるファサードとなっています。
軒先や光庭には四季の変化を表す植栽をあしらっています。建物内外の境界際に設けられたこれらの植栽スペースは、視線や動線をコントロールする役目を果たし、内外を緩やかに繋ぎ軒下空間を豊かなパブリックスペースとしています。





上：瓦役物検討スケッチ
下：新規開発の瓦役物試作





京都府知事賞

—B部門—

西都教会

奥谷 繁礼



京都市長賞

—B部門—

清香庵　Seiko-an ／
二畳組立式現代茶室

株式会社宍粟住建



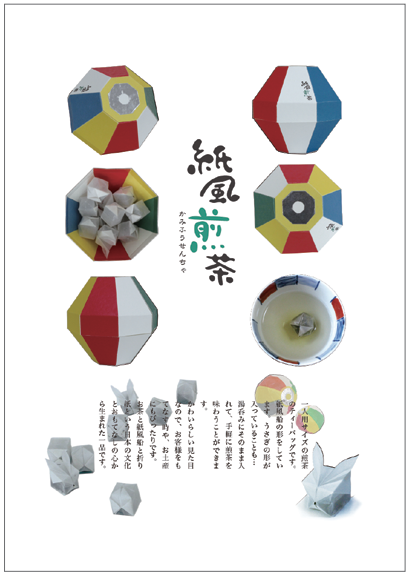
京都商工会議所会頭賞

—A部門—

「紙風煎茶」

増田 悠菜

（京都嵯峨芸術大学短期大学部）





京都新聞賞

—B部門—

食用絵柄金箔『KOTOBUKI』

クリスタルローズ





伏見酒造組合賞

—C部門課題①—

伏見の清酒「浮」

株式会社トライアード　土井 智宏



京とうふ藤野賞

—C部門課題②—

京とうふ　–京美人–

松浦 隆浩





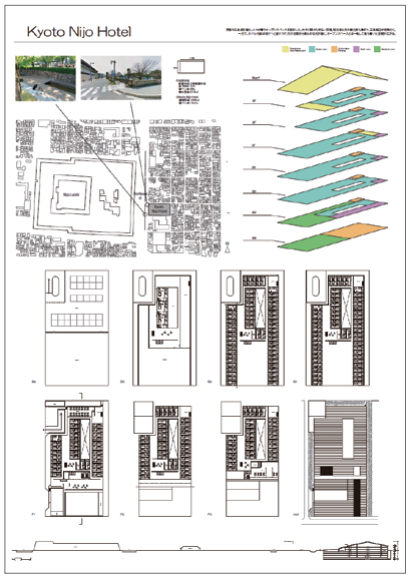
学生賞

—A部門—

Kyoto Nijo Hotel

井上 みちる

（京都精華大学）



■部　門

A　提案部門……製品化・実用化することを前提としたもの。

B　作品および製品部門……既に製品化・実用化されているもの。

C　課題部門……製品化・実用化することを前提としたもの。

課題①「伏見の清酒」ラベルまたはラッピングデザイン

課題②「京とうふ」パッケージデザイン

■分　野（A、B 部門共通）

第1分野…グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・写真・イラストレーション・パッケージデザイン

第2分野…ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ

第3分野…プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン

第4分野…建築・ランドスケープ・インテリアデザイン・ディスプレイ

入選（A 部門第 1 分野）

Tea Set

澤 みどり

（創造社デザイン専門学校）



入選（A 部門第 1 分野）

京風ショコラパッケージ「鏡の都」

中臣 のぞみ

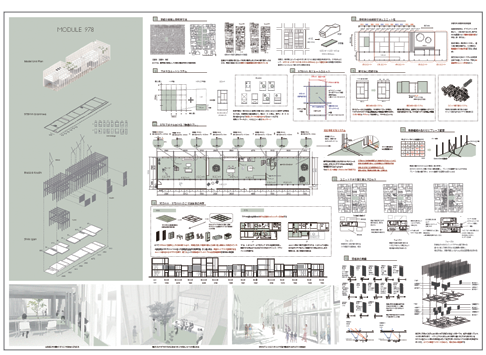
（創造社デザイン専門学校）



入選（A 部門第 4 分野）

module 978

渡邉　匠（大阪市立大学 都市系専攻 工学研究科 建築計画研究室）



入選（B 部門第 1 分野）

丹後ばらずし玉手箱〜黄金のたんごプレミアム〜

うめや本舗



入選（B部門第1分野）

新選組御用達　壬生乃夢（純米原酒・限定品）

刀剣　開陽堂



入選（B部門第2分野）

からげ帷（かたびら）＋紐帯（ちゅうたい）

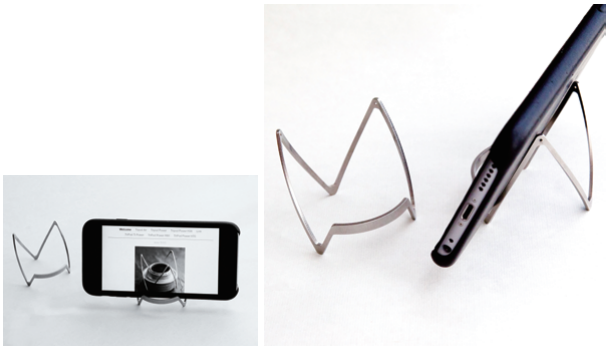
若林株式会社／SOU・SOU



入選（B部門第3分野）

Smart Stand（スマートスタンド）

atelier setsugekka 松山 和之



入選（B部門第3分野）

芳香器 ふうか

株式会社松栄堂



入選（B部門第3分野）

友禅朱印帖　goen

株式会社尚雅堂



入選（B部門第3分野）

京鉄瓶「雲色堂」銀覆（ぎんおおい）シリーズ

有限会社西村松寿堂　島　明彦



入選（B部門第3分野）

SOU・SOU× 宇治田原製茶場
水出し六刻茶（ろっこくちゃ）

若林株式会社／SOU・SOU



入選（B部門第3分野）

SOU・SOU× 宇治田原製茶場
ガラス急須&茶缶セット

若林株式会社／SOU・SOU



入選（B 部門第 3 分野）

SOU・SOU× 亀屋良長　和菓子になったテキスタイルデザイン

若林株式会社／ SOU・SOU



入選（B 部門第 4 分野）

サントリーワールドリサーチセンター

株式会社竹中工務店
小幡 剛也、大平 卓磨、佐藤 達保



入選（B 部門第 4 分野）

イオンモール京都桂川

株式会社竹中工務店
木戸 貴博、三和 盛彦、文野 志宏、
奥村 雄樹、三田村 聡



入選（B 部門第 4 分野）

向日市の家

こより　中村 昌彦・中村 菜穂子



入選（B 部門第 4 分野）

真宗教化センター　しんらん交流館

株式会社日建設計 若林　亮／株式会社日建スペースデザイン　日野 智之　内堀 佑紀



入選（B 部門第 4 分野）

大岡医院　稲荷診療所

一級建築士事務所 ROOTE ／
西井 洋介



入選（C 部門課題①）

「伏見の清酒」

大山　凪
（京都嵯峨芸術大学短期大学部）



入選（C 部門課題①）

「伏見の清酒」

坂口　遥
（京都嵯峨芸術大学短期大学部）



入選 (C 部門課題①)

伏見の清酒　祝い酒

辻中　進



入選 (C 部門課題②)

京とうふ「枕」

株式会社トライアード　仲川 浩太郎



■ 主催
(公社) 京都デザイン協会

■ 後援
京都府
京都市
京都商工会議所
(公財) 京都産業 21
京都府中小企業団体中央会
京都市立芸術大学
京都意匠文化研究機構
ジェトロ京都貿易情報センター
京都新聞
京都新聞 COM
NHK 京都放送局
KBS 京都
エフエム京都

■ 協力
(有) 画箋堂
京とうふ藤野 (株)
京都芸術家国民健康保険組合
(株) 染織と生活社
(株) 田中直染料店
伏見酒造組合
府庁旧本館利活用応援ネット
ホルベイン画材 (株)
(株) リーフ・パブリケーションズ

■ 賛助会員
市田 (株)
(株) イヤタカ
(株) エクザム
(有) エム・イー・エフ
(有) 画箋堂
(株) 京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都百貨店協会
(株) 境田商事
ジャパンコラボホールディングス (同)
(株) 尚雅堂
(株) 聖護院八ッ橋総本店
(株) 竹尾大阪支店
(株) 千總
日本写真印刷コミュニケーションズ (株)
(株) バウハウス
(株) パルテごとう
富士ゼロックス京都 (株)
平和紙業 (株)
(株) 丸二
山内紙器 (株)
(株) 友愛ビルサービス
六和証券 (株)
(株) 若林佛具製作所

■ 協賛
京都造形芸術大学
京都外国語大学
京都芸術デザイン専門学校
京都嵯峨芸術大学
京都精華大学
長岡スイミングスクール
(株) 祇園平八
イワモトエンジニアリング (株)
(株) JED
刀剣 開陽堂
なら皮ふ科クリニック
株式会社 俄
(株) アートバンク
アーバンホテルシステム (株)
(株) アイビー長崎
アドバンストマテリアルジャパン (株)
(株) アルク
(有) エム・イー・エフ
(株) かねわ工務店
(株) かわな工業
蔓技塾　徳舛瓦店 (有)
北白川天然ラジウム温泉
NPO 法人京都伝統工芸情報センター
京都履物 (株)
(株) グランマーブル
弁護士法人 佐渡春樹法律事務所
(株) 宍栗住建
ジャパンコラボホールディングス (同)
ターナー色彩 (株)
(株) ターレンスジャパン
(有) 大進工務店
(株) 高橋工務店
(有) ティアック
(株) TNC ブライダルサービス
中嶌製版 (株)
(株) ナカタニ工務店
(株) 西川紙業
(株) 西村工務店
(株) PALM
BAL 中澤 (株)
万朶花
(株) フクナガ
ホルベイン工業 (株)
まつもとクリニック
(株) みっくす
(株) メディアホワイト
(株) メディアインパクト
湯の宿松栄・誠の湯
(株) 大京穴吹不動産

公益社団法人　京都デザイン協会
〒 604-8247　京都市中京区塩屋町 39（三条通小川北西角）
TEL ：050-3385-8008　FAX：050-3385-8009
URL：http://www.kyoto-design.net/
mail：info@kyoto-design.net